

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

送信先: report@r-ict-advisor.jp

報告日 令和4年7月19日

派遣決定番号

報告回次

2日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	福岡市立西高宮小学校	代表者名	太田 康治
担当者部署	福岡市教育委員会	連絡先電話番号	092-531-8136
担当者役職	教頭	担当者氏名	石橋 美和
住所	815-0071 福岡県福岡市平和1丁目6番5号		

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	松田 孝
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	○ 「子どものキャリア形成に責任をもつプログラミング教育」という観点から、Society5.0に生きる子ども達に対するプログラミング教育の必要性と概論について学ぶことができた。また、実際にCutlery Appsを用いてカムプログラムロボットを動かしたり、イチゴダイフクを操作してドローンを飛ばしたりする活動を通して、プログラミング学習になじみの薄い教員も、楽しみながら主体的に学ぶことができた。授業の中での教師の役割や子どもへの働きかけ方など、具体的な場面で助言をいただくことができ、大変有意義であった。
アドバイザーへの要望事項	次回以降も、実際に活動することを通してプログラミング学習について学んでいきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日 (申請書より)	支援内容 (申請書より)	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和4年8月17日	支援・助言(実地)	有	令和4年7月7日	109
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和4年7月12日	支援・助言(実地)	15時20分	17時00分	
				活動時間(分)	100
3-2. 派遣場所	会場名	福岡市立西高宮小学校	最寄駅	西鉄平尾駅	
	所在地	福岡県福岡市南区平和1丁目6番5号	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	17人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	○ プログラミング教育の意義や児童に育てたい資質能力が、職員に理解されていない。また、実際にプログラミング学習に取り組んだ経験のない職員が多く、授業に対する具体的なイメージがもてていない。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	○ プログラミング教育の意義や必要性、児童に育てたい資質能力について、職員が具体的に理解することを目指す。実際の授業のシミュレーションを通して、プログラミング学習を構成し展開する力を身に付けることができるようにする。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	○ Society5.0に生きる子ども達について、キャリア形成という観点からみたプログラミング教育の必要性と目的について学ぶことができた。実際に、Cutlery Appsを用いてカムプログラムロボットを動かす活動の体験をすることができた。さらに、イチゴダイフクを操作し、無線でドローンを操作する体験もできた。授業構成のしかたや子どもへの働きかけ方など、教師の役割についてもレクチャーを受けることができた。	

	プログラムの実行が完了した。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	○ プログラミング学習の必要性が、職員の中で共通理解できた。プログラミング学習(カムプログラムロボットを動かす活動・ドローンを飛ばす体験)の授業づくりへの見通しをもつことができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	○ 今回が初めての研修だったため、テキスト言語を用いたプログラミング学習について深く学ぶことができなかった。今後さらに目標とする資質・能力を育成するための活動に適したプログラミング言語を選択し、活用するための研修を進めていく必要がある。また、実際に児童へどのように指導するかの単元づくり・授業づくりを行っていきたい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 ○ 初めてプログラミングに関する研修を経験したが、実際に学習活動を体験しながら学ぶことで、主体的に研修に参加できた。難しく考えていたが、自分にもできそうだと自信がついた。この経験を授業づくりに活かし、子ども達にプログラミングの楽しさを味わわせたい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿		

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



